

ET&IoT Technology 2018 IPA ブースプレゼンテーション



制御システムのセキュリティ

~サイバー攻撃の現状とリスク分析のすすめ~



2018年11月14日(水) 16:30 - 16:50

2018年11月15日(木) 14:30 - 14:50

2018年11月16日(金) 14:00 - 14:20

独立行政法人情報処理推進機構(IPA)

セキュリティセンター セキュリティ対策推進部 福原聡/岡下博子



本日の内容

- 1. 制御システムとは
- 2. 制御システムのセキュリティ
- 3. 制御システムにおける脅威
- 4. 制御システムへのサイバー攻撃の分類
- 5. サイバー攻撃事例
- 6. リスク分析のすすめ
- 7. リスク分析の例
- 8. リスク分析ガイドのご紹介



1. 制御システムとは

- 制御システムとは
 - 電力・ガス、石油・化学等のプラントにおける監視制御や、機械・食品の工場の生産ライン等で利用されているシステム
- 制御システムの特性
 - ✓ 社会基盤、産業基盤を支えており可用性が最重要。停止 による社会的な影響・事業継続上の影響が大きい
 - ✓ システムのライフサイクルが10-20年と長期間





石油化学プラント

工場の生産ライン



2. 制御システムのセキュリティ

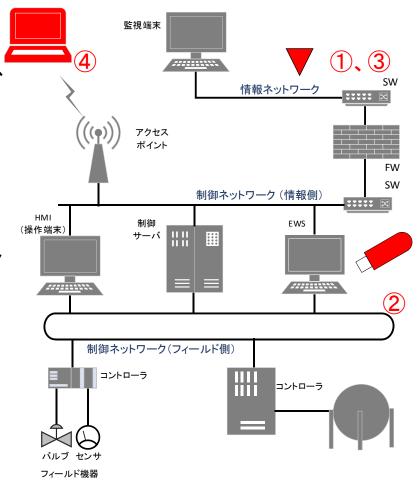
- セキュリティ対策の必要性
 - インターネット、リモート回線等外部ネットワークとの接続
 - 構成コンポーネントがWindowsやLinux等の汎用品
 - USBメモリの利用
- 制御システムに対する攻撃
 - 日本の20~40%の制御システムはサイバー攻撃を受けている
 - カスペルスキー https://ics-cert.kaspersky.com/ から推定
 - 60%の制御ネットワークは外部から侵入可能
 - ポジティブテクノロジー
 https://www.ptsecurity.com/upload/corporate/ww-en/analytics/ICS-attacks-2018-eng.pdf



3. 制御システムにおける脅威

制御システムにおける脅威 (2016年 高い順)

- ① ソーシャルエンジニアリング とフィッシング
- ② USBメモリや外部のPCを 介してマルウエア感染
- 3 インターネット/イントラネット からのマルウエア感染
- 4 リモートアクセス
- BSI Industrial Control System https://www.allianzfuer-cybersicherheit.de/ACS/DE/_/downloads/BSI-CS_005E.pdf?__blob=publicationFile&v=3





4.制御システムへのサイバー攻撃の分類



インターネット/ イントラネット/ フィッシング

USBメモリ 持ち込み機器

リモートアクセス

バラマキ型

差別に 攻撃、破壊 日英仏 自動車メーカー 2017 Wanna Cry 1~数日の操業停止 米 発電所 2012 Mariposa 運転再開が3週間遅延 凡例:国 業界/施設 年 マルウエア名 事業被害

標的型

ーつの目標に 突き進む ウクライナ 電力 2015 BlackEnergy3 22.5万人停電3-6時間 イラン ウラン濃縮施設 2010 Stuxnet 8400台の遠心分離機 が破壊 中東 石化プラントSIS 2017 TRITON フェールセーフでシス テム停止



5.サイバー攻撃事例(1)

膨大な損失が発生する

- ランサムウェア感染による自動車工場の操業停止
 - 【被害】:2017年5月~6月、フランス、英国および日本の 大手自動車メーカーの工場で、コンピュータがマルウェア WannaCry に感染し、1日~数日間操業が停止した。
 - 【原因】: 外部ネットワークからの感染か隔離されたネット ワークへの外部機器の持ち込みか



Wannacrv感染による暗号化画面



標的型 一つの目標に 突き進む

攻撃、破壊

ウクライナ 電力 2015 BlackEnergy3 22.5万人停電3-6時間

1~数日の操業停止

イラン ウラン濃縮施設 2010 Stuxnet 8400台の遠心分離機 が破壊

運転再開が3週間遅延

中東 石化プラントSIS 2017 TRITON フェール セーフでシス テム停止

凡例:国 業界/施設

年 マルウエア名

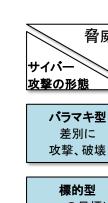
事業被害



5.サイバー攻撃事例(2) マルウェア感染はネットワーク経由だけではない

- ・米 発電所のタービン制御システム
 - 【被害】: 2012年、制御ネットワークに接続された約10台のコンピュータがマルウェア Mariposa に感染した結果、運転再開が約3週間遅延
 - 【原因】:システム管理会社がメンテナンス時にアップ デートを行おうとしてUSBメモリーを持ち込み感染









USBメモリ

持ち込み機器

凡例:国 業界/施設 年 マルウエア名 事業被害

標的型 一つの目標に 突き進む ウクライナ 電力 2015 BlackEnergy3 22.5万人停電3-6時間

1~数日の操業停止

イラン ウラン濃縮施設 2010 Stuxnet 8400台の遠心分離機 が破壊 中東 石化プラントSIS 2017 TRITON フェールセーフでシス テム停止

リモートアクセス



5.サイバー攻撃事例(3)制御専用のプロトコルを利用/広範囲で被害

・ ウクライナ 電力

- 【被害①】:2015年12月、3時間~6時間にわたり大規模停電が発生。22万5千人に影響を及ぼした。侵入にはマルウェア BlackEnergy3 が使われたが、停電を引き起こした最終的な攻撃は、攻撃者による制御システムの不正操作であったと言われる。

- 【原因】:標的型メールによる感染

【被害②】: 翌2016年12月、30分~1時間15分にわたる大規模停電が発生。制御システムがマルウェア「Industroyer/CrashOverride」に感染し、当該マルウェアが送電変電所の遮断機を不正操作したと言われ

る。



脅威 サイバー 攻撃の形態

インターネット/ イントラネット/ フィッシング

USBメモリ 持ち込み機器

リモートアクセス

バラマキ型 差別に 攻撃、破壊

日英仏 自動車メーカー 2017 WannaCry 1〜数日の操業停止

米 発電所 2012 Mariposa 運転再開が3週間遅延 **凡例**:国 業界/施設 年 マルウエア名 事業被害

標的型

一つの目標に 突き進む

ウクライナ 電力 2015 BlackEnergy3 22.5万人停電3-6時間 イラン ウラン濃縮施設 2010 Stuxnet 8400台の遠心分離機 が破壊 中東 石化プラントSIS 2017 TRITON フェールセーフでシス テム停止



5.サイバー攻撃事例(4) 独自仕様の制御システムで発症し人知れず活動

- イラン ウラン濃縮施設
 - 被害:マルウエア Stuxnet に感染したコンピュータの制御により、ウラン濃縮施設の8400台の遠心分離機が破壊された。このマルウェアは、管理者には全て正常に作動していると見せかけつつ、機器に高い負荷をかけて稼働不能としたとされる。
 - 原因:USBメモリで持ち込まれたといわれる





情報

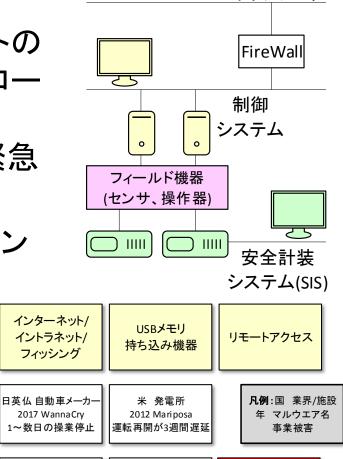
ネットワーク

5.サイバー攻撃事例(5)

SIS (安全計装システム) さえも攻撃対象

- 中東 石化プラント
 - 【被害】2017年 石油化学プラントの 安全計装システム(SIS)のコントロー ラの制御プログラムをマルウエア TRITON が改竄し、プロセスが緊急 停止。
 - 【原因】マルウエアによるEWS(エン ジニアリングワークステーション) へのリモートアクセス 脅威 サイバー

(詳細不明)



標的型

一つの目標に 突き進む

バラマキ型

差別に

攻擊、破壊

攻撃の形態

ウクライナ 電力 2015 BlackEnergy3 22.5万人停電3-6時間

イラン ウラン濃縮施設 2010 Stuxnet 8400台の遠心分離機 が破壊

フェール セーフでシス テム停止





様々なタイプのサイバー攻撃にいかに対応するか?

- 標的型かバラマキ型か?
- 侵入される経路は?
- どのような被害が想定されるか?
- システムのどこを強化すべきか?



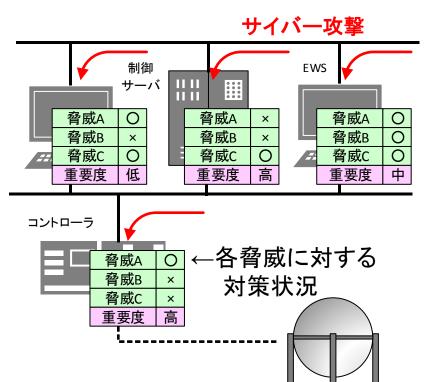
システム全体の俯瞰と効果的なセキュリティ対策の検 討が必要 → 詳細リスク分析



6.リスク分析のすすめ 2つの詳細リスク分析

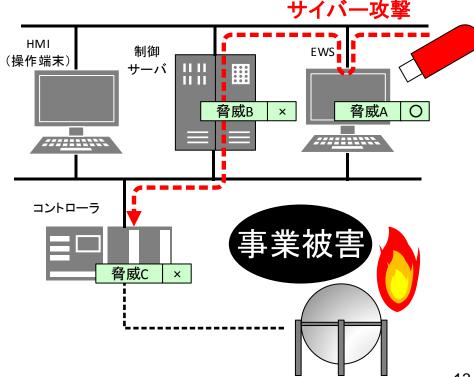
資産ベースのリスク分析

全資産を漏れなく分析



事業被害ベースのリスク分析

• 事業被害を生じさせる攻撃 手順に沿って分析

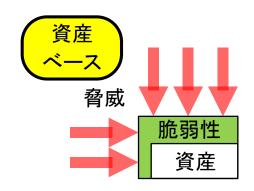


IPA

6.リスク分析のすすめ 2つの詳細リスク分析

資産ベースのリスク分析

- 資産単体のさまざまな脅威に対する対策状況(脆弱性の裏返し)を分析
- 資産の重要度を分析



→ リスク値を算定する

事業被害ベースのリスク分析

攻撃のシナリオを想定して攻撃 ッリー(攻撃手順)の対策状況 を分析

・ 事業被害の内容 と大きさを分析

→ リスク値を算定する

高いリスク値に対策を検討する

6.リスク分析のすすめ サイバー攻撃への対応





インターネット/ イントラネット/ フィッシング

USBメモリ 持ち込み機器

リモートアクセス

バラマキ型 無差別に 攻撃、破壊

日英仏 自動車メーカー 2017 Wanna Cry 1~数日の操業停止

米 発電所 2012 Mariposa 運転再開が3週間遅延 国 業界/施設 年 マルウエア名 事業被害 資産ベースの リスク分析

標的型

ーつの目標に 突き進む ウクライナ 電力 2015 BlackEnergy3 22.5万人停電3-6時間 イラン ウラン濃縮施設 2010 Stuxnet 8400台の遠心分離機 が破壊 中東 石化プラントSIS 2017 TRITON フェールセーフでシス テム停止

事業被害ベースの リスク分析

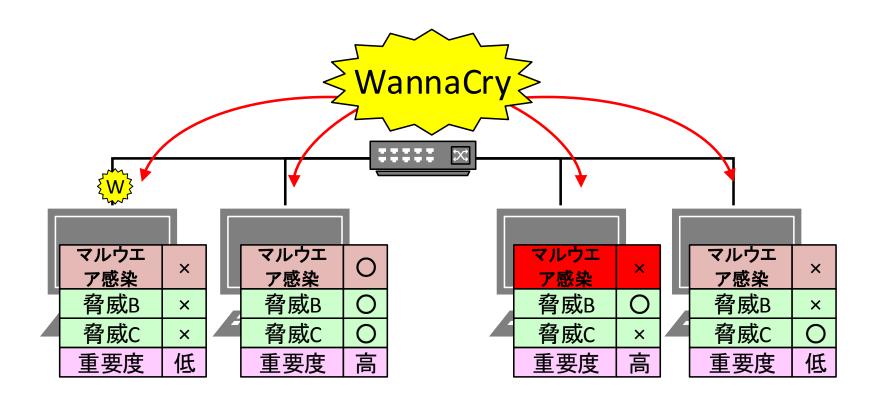
2つの詳細リスク分析は幅広く様々な脅威/攻撃に対応



7.リスク分析の例 資産ベースのリスク分析

WannaCry

資産ベースのリスク分析

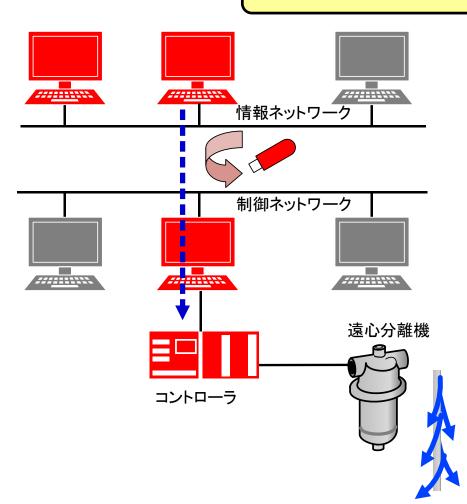




7.リスク分析の例 事業被害ベースのリスク分析

Stuxnet

事業被害ベースのリスク分析



シナリオ:

制御ネットワーク上のコンピュータシステムにUSBメモリ経由でマルウエアが侵入し、制御ロジックを書き換える事で遠心分離機を過負荷にて破壊した。



8.リスク分析ガイドのご紹介制御システムのセキュリティリスク分析ガイド第2版

- 制御システムのセキュリティ
 - 詳細リスク分析
 - 資産ベース分析/事業被害ベース分析
 - セキュリティ投資の優先順位等、組織 として戦略的に検討可能
 - 一度実施するとそれをベースに継続的 セキュリティレベルの向上可能
 - 第2版の特徴
 - 実際に分析を行った数業種の分析の フィードバックを含む
 - よりわかりやすくシンプルにすることで 分析工数を削減

2018年10月15日公開



https://www.ipa.go.jp/security/controlsystem/riskanalysis.html

12/10にIPAにて事業者向け有料セミナー開催予定



8.制御システムに対するリスク分析の実施例制御システムのセキュリティリスク分析ガイド 別冊

- 典型的なモデルシステムに対するリスク分析の完全な実施 事例
 - ① データフローマトリックス
 - ② 資産の重要度の判断基準
 - ③ 各資産に対する重要度一覧
 - 4 事業被害レベルの判断基準
 - 5 事業被害とそのレベルの検討
 - 6 脅威レベルの判断基準
 - ⑦ 脅威レベルの検討
 - 8 資産ベースのリスク分析シート
 - 9 攻撃シナリオー覧の作成
 - ⑪ 攻撃ルートの作成
 - ⑪ 事業被害ベースのリスク分析シート
 - (12) 制御システムのリスク分析結果(リスク低減のための改善策)



リスク分析シートー式(Excelファイル)は、以下のURLからダウンロード可能。



8.早わかり 活用の手引き

- 制御システムのセキュリティリスク分析ガイド(本体380ページ、別冊94ページ)のエッセンスをまとめた全36ページの紹介資料
- 活用の手引きは、以下のURLからダウンロード可能。
 https://www.ipa.go.jp/security/controlsystem/riskanalysis.html





展示ブースにもお立ち寄りください。



関連する展示ブースのご案内(制御システムセキュリティ)

